

会議録

会議の名称	平成27年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成27年9月28日（火曜日）午後7時から午後9時まで
開催場所	保谷庁舎 1階会議室
出席者	委員：赤澤委員長、有賀副委員長、岸上委員、郷地委員、近辻委員、中平委員、西田委員、藤江委員（欠席：安井委員、山本委員） 事務局：林文化振興係長、工藤文化振興係主査
議題	議題1 合築複合化基本プラン策定懇談会及び文化財保存・活用計画策定委員会参加委員からの報告について 議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について 議題3 平成27年度施策・事業評価（平成26年度分）について（施策番号6から11まで） 議題4 その他
会議資料の名称	資料1 合築複合化基本プラン策定懇談会及び文化財保存・活用計画策定委員会報告資料 資料2 計画中期の取組実施報告について 別紙 8月6日「対話による美術鑑賞」夏の体験会ムサビ参加者アンケート集計結果 資料3 平成27年度施策・事業評価推進委員会評価コメント事務局取りまとめ案 （参考資料） ・「対話による美術鑑賞」事業に係るQ&A（平成27年9月10日更新） ・平成27年度西東京市民文化祭PRinアスタPRチラシ ・第15回西東京市民文化祭オープニングイベント開催PRチラシ ・西東京市民文化祭総合プログラム 出会い ふれあい 文化の輪 ・西東京市おでかけマップ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○委員長： 定足数と出席している委員を確認</p> <p>（配付資料について）</p> <p>○事務局： 参考資料の西東京市おでかけマップは、新たに作成したというのではなく、文化財保存・活用計画策定委員会の報告の際に活用する。</p> <p>議題1 合築複合化基本プラン策定懇談会及び文化財保存・活用計画策定委員会参加委員からの報告について</p>	

(合築複合化基本プラン策定懇談会参加委員から資料1に基づき説明)

○委員：

3館合築は突然の話であり、本来は市のランドデザインや公共施設の適正配置計画が先では。

市民会館の跡地に建てられるのは、用途地域の関係もあり地下を含めて6階までということなので、3館合築する場合は、公会堂部分を縮小せざるを得ないとする。

○委員：

合築複合化懇談会では、市民会館サイドからのリクエストが少ない。

懇談会参加委員は、駅近に1,000人規模の文化ホールを求めているが、その場合、現在の市民会館の場所には、図書館と公民館のスペースを倍増し、市民会館の公会堂部分は駅近のホールとして移すべきである。

○委員：

9月20日に懇談会で複合施設を視察に行ったが、西東京市と比べると人口は半分で土地が豊で、ホールに関してあまり切羽詰っていないような土地柄に500人、600人規模のホールがあったのであまり参考にならなかった。

懇談会では、使用率の低下からホール不要論も出ていたが、西東京市の施設を利用していない市外在住の委員ならではの発言である。

図書館の蔵書数は、西東京市の規模だと29万冊必要であるが、現状では半分程度であるので、2倍から3倍増やす必要がある。

前回の懇談会では、本日の資料（提案書）の半分程度口頭で話したが、推進委員会の皆さんからも意見を頂きたい。

○委員：

こもればホールの使い勝手もあまり良くないということもあるので、懇談会参加委員の駅近に1,000人規模の文化ホールを求める提案に賛成であるが、提案書の文章の句読点をもう少し打ったほうが読みやすいと思う。

○委員：

提案と同じ考えである。20万都市を考えると文化施設はどうあるべきかをもっと考える必要がある。3館合築だと全ての施設が縮小してしまう。図書館にはある程度スペースが必要であり、そうすると市民会館部分を入れることに無理がある。練習場所、防音室などに限ってもいいのでは。駅近に1,000人規模の文化ホールができると、こもればホールではできないことが可能となる。

こもればホールはこもればホールで、地域に根ざした事業を行っているので、特色を出していければいいと思う。

○委員：

懇談会委員の中には、図書館、公民館が駅から遠くなることを危惧している委員もいる。

○委員：

3館合築は高層化すると思った。高層化できないなら物理的に無理だと思う。

1,000人と500人から600人規模のホールでは、根本的に用途が違う。一番は、プロの興行ができるかどうかであり、こもればホールではプロの興行はほとんどないのが現状である。

○委員：

1,000人以上のホールをつくるとなると、建設費はどのくらいか？提案書にある1,000人以上のホールは、バブルの頃に立った施設が多いのでは。5年から10年後を考えて費用対効果を市民に示すべきでは。

○委員：

ハコモノをつくる際は、大きいホールをつくるのが、果たして文化の成熟度を高めるかどうかなどを検証する必要がある、文化の成熟度が高まったことを評価する指標が必要である。

提案書を推進委員会の意見としてオーソライズするのは反対である。

○委員：

公共的なマスコミに関わる身としては、特定の意見に同調することはできない。

○委員：

図書館、公民館については、図書館協議会や公民館運営審議会から結束して意見が出るが、ホールについては結束した意見が出てくるところがないので提案書はいいと思う。推進委員会は様々な立場の人がいるので、いろんな意見があってもいいのでは。

○委員：

ホールはお金があればつくってもいいと思うが。

○委員：

庁舎統合を考える場合は、豊島区の高層庁舎の建設なども参考にすべきでは。

○委員：

文化施設は長期的な視野が必要であり、東京オリンピックのスタジアムのようなことにならないように、ハコの場所とか大きさではなく、何が必要かを時間をかけて検討していくべきである。

合築の問題を検討する際に、1,000人以上のホールの話はふさわしくないのでは。

こもればホールが誕生して15年以上経ったが、他にもう1つ必要というのなら、市が反省する必要がある、それを踏まえて1,000人規模のホールについて検討すべきでは。

○委員：

合築は図書館と公民館の2館で行い、市民会館部分はホールを入れるのではなく、練習場や防音室をつくるべきでは。

こもればホールは保谷市のときにつくられたので、西東京市としてどのようなホールが必要かを考えるべきである。

○委員：

提案書の最後に、西東京市文化芸術振興推進委員会有志という文言を入れたいと思う。

○事務局：

本日、推進委員からも3館合築についてのご意見を頂いたので、提案書の他に、推進委員からはこのような意見があったということを懇談会に持って行ってほしい。事務局で会議録を作成し、他の意見を取りまとめたいと思う。

(文化財保存・活用計画策定委員会参加委員から資料1に基づき説明)

○委員：

文化財保存・活用計画策定の審議においては、施策ではなく、具体的なストーリーを作成すべきと思っている。

西東京市には約50の指定文化財があって、郷土資料室にもジオラマなどがあり、多くの人に見てもらいたいと思うが、案内の表示なかったりするので、もっと宣伝する必要があると思っている。

○委員：

市の教育委員会では、中高生を対象とした縄文遺跡を活かしたまちづくりを提案するワークショップを行っており、とても良い事業だと思うので、文化振興課でも応援してほしい。

○事務局：

先日、9月20日に東伏見STEP22で、中学生による縄文まちづくり提案の発表会が行われた。下野谷遺跡が国史跡指定されたこともあるので、市全体で取り組んでいくべきことであると考えている。

他に意見があれば、事務局まで連絡していただきたい。

議題2 計画中期の取組実施報告（「対話による美術鑑賞」事業他）について

○事務局：

内容をご覧いただき、意見などがあれば事務局まで連絡いただきたい。

議題3 平成27年度施策・事業評価（平成26年度分）について（施策番号6から11まで）

○事務局：

平成27年度施策・事業評価推進委員会評価コメント事務局取りまとめ案については10月中に固め、次回推進委員会で内容を確定したい。事務局取りまとめ案にご意見があったらメールで回答いただきたい。

議題4 その他

○事務局：

次回の開催については、11月9日（月曜日）の午後7時からイングビル3階第4会議室に決定。

（閉会）

以上

